

浮立面木彫り



こもり けいうん
小森 恵雲

昭和 26 年生

鹿島市

昭和 45 年に三代目小森恵雲氏に弟子入りし、浮立面木彫り工芸の伝統的技法を修得し、昭和 50 年に杉彫を開店、平成 2 年に四代目小森恵雲を襲名した。

自然木の木目を活かし彫り上げた浮立面（白木）において、伝統の技に創意工夫を加えた独自の世界を確立している。